JICA 教師研修 学習指導案・授業実践報告書

【実践者】

氏名	富澤喜一	学校名	東京都立 荒川工業 高等学校 定時制課程
担当教科等	現代社会	対象学年 (人数)	3年A・B組(5名)
実践年月日もしくは期間(時数)		2022年7月	~12月(14時間)

【実践概要】

- 1. 実践する教科・領域:現代社会
- 2. 単元(活動)名:世界の難民問題・多文化共生社会について
- 3. 授業テーマ(タイトル)と単元目標

授業テーマ:「移民・難民とは」

単元目標:多文化主義の重要性を理解させる。世界の難民の現状と課題解決を考察する。

関連する学習指導要領上の目標:よりよい社会の実現を視野に、現代の諸問題を主体的に解決 しようとする態度を養うともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現在 社会に生きる人間としての在り方や生き方についての自覚や公共的な空間に生き、国民主権を 担う公民として自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや各国が相互に主権を尊重し、各国民 が協力し合うことの大切さについての自覚を深める。

4. 単元の評価 規準	①知識及び技能	│ 人種問題でアパルトへイト廃止などを例に理解している。 │
		戦争・紛争で難民国内避難民が生じることを理解している。
	②思考力、判断力、 表現力等	パレスチナ問題で歴史的な背景を踏まえてなぜ解決が難しいのかを考察している。どのような援助を必要とされているかを協働的に考察・構想しそれらを適切に表現している。
	③学びに向かう力、 人間性等	よりよい社会の実現を視野に多文化主義について学習したことを日常生活で他者との関係に生かそうとしている。

意義

5. 単元設定の|【単元設定の理由】日本という島国に暮らす高校生にとって国籍や難民問題など 理由・単元の身近な事ではないと感じる傾向にあるが本当に身近な事に気付いてほしいため。

【単元の意義】グローバル化する国際社会を学ぶにふさわしいと考える。

(児童/生徒 観、教材観、 指導観)

【児童/生徒観】真面目な生徒たちで大人しい面もあるが、お互いに切磋琢磨し ながら個人だけでなく全体で伸びようとする底力がある。

【指導観】大変ノリがよく、教員が指名する前にしっかりと自分たちで考えよう とする。少し難問に当たると固まってしまう生徒も中にいる。

6. 単元計画 (全 10 時間)

	小単元名	学習のねらい	学習活動	資料など
1	異文化 理解	開発途上国の生活・ 文化を通し「異文化 理解」を深める	JICA 出前授業	ジンバブエ共和国 派遣「岩﨑健太郎」 外部講師の先生に よる授業
2	国際理解	世界の原産国と流通 を通して日本との繋 がりを学ぶ	カードを使って日本へ輸入されて くる品物と国名や国旗、場所など ゲームを通して学習する。	「モノはどこから きているの」カード ゲーム

3	国際協力 JICA と SDGs	平和を維持するため には人権保障や生活 の安定平時の努力が 必要 国際政治の主体が、	JICA について学ぶ SDGs を通して国際社会を学ぶ 「バナナペーパーができるまで」 国家の三原則など	「SDGs のうた」 「未来への分岐点」 NHK放送の録画 JICA 東京バナナ ペーパー ワークシート
	の成立	主権をもつ国家であること		
5	国際社会と国際法	国際政治の変化 領土問題	北方領土問題や尖閣諸島、竹島に ついて領土問題の歴史的背景など を学び考える	教員が ICT を操作 し て日本の領土問題 を 取り上げ説明する
6	国際連合	国際組織のネットワーク	平和を維持するためには人権保障 や生活の安定など紛争が起こらな いように平時の努力が求められる	ワークシート
7	冷戦終結	東西対立と関係変化 ソビエト連邦の解体	冷戦構造がもたらした戦争・紛争 について学習。1980年代後半から の関係変化と東西ドイツ統一・ ソビエト連邦解体	ワークシート
8	不安な世 界	冷戦がもたらした負 の側面を知る	多発する民族紛争に対して世界が どの様に対処するべきか考える	ワークシート
9	地域大国 の台頭と 多極化す る世界	近年の国際状況を展 望する	大国の思惑は何か。混迷を極める 中東地域の現状を理解する	ワークシート
1 0	人権問題 の展開	人種問題は民主政治 確立や基本的人権が 保障されていても起 こる	差別を生み出した構造を歴史的に 理解させ、国際社会の圧力などが これらの問題解決を導いたことを 理解する。	アパルトヘイト 政策撤廃について
1 1	人種・民 族問題	ナショナリズムにど のような問題がある か	現在の難民問題・民族問題を考える 事前課題プリント	情報番組 ワイドスクランブ ル録画映像
12本時	移民・難 民問題	マイノリティ 多文化共生 アイデンティティ	前時の内容を振り返って事前課題 について確認する。○×クイズ問 題を通して一人ひとりが移民・難 民について考える。	○×クイズ問題 振り返りシート
13本時	移民・難 民問題	世界と日本の難民 問題	今後どのようにしていく事が望ま しいのかをブラッシュアップして 発表する。	○×問題 振り返りシート
1 4	人権問題	多文化共生 人間の安全保障 人権	移民難民問題に対する日本の対応 日本で暮らすクルド民族について	映画 『マイスモールラ ンド』

7. 本時の展開(12時間目・13時間目 連続授業)

本時のねらい: クラス全体での話し合いや個人の発表を聞くことを通じて自分ひとりでは考えただけで は浮かばなかったアイデアや考え、そして多様な見方や意見がある事に気付かせる。

移民・難民について普段考えなかったこと、触れなかったことを考えて理解、発表の場をつくる。

過程・	教員の働きかけ・発問および学習活動	指導上の留意点	資料 (教材)
時間	• 指導形態	(支援)	
導入	前時までの振り返り、課題の取組状況の確認	民族の区別と国境は	○×問題ワーク
(10分)		一致しないことを確	シート
		認する。身近に問題	○×うちわ使用
展開	「難民」「国籍」についての「○×問題」をクイ	があることを考えさ	
(25分)	ズ形式で確認する。	せる。	
	「国籍」「難民」について考えをまとめ発表する		パワーポイント
まとめ	それぞれの考えについて話し合いをする		
(10分)	世界の民族や宗教、文化も尊重する姿勢をもつ		
	ことが問題解決へとつながること忘れない。		
導入	「日本にいる難民について考えてみよう」	問 日本にはどのく	ニュース映像を観て
(10分)		らい難民がいるのだ	考える
展開	個人ワーク	ろう	
(25分)	5 枚のエピソードシートをランダムに配りひと	机間巡視のなかで	エピソードシート
	りずつ個人で読み込み、生徒一人一人が自分の	生徒一人ひとりに声	日本にいる難民ワー
	考え・感じたことなどをワークシートへ記入	掛け	クシート
まとめ	全体共有		振り返りシート
(10分)	解説 ふりかえり		

8. 評価規準に基づく本時の評価方法 国際社会では難民問題が生じていることを理解している 失敗を恐れずに積極的な意見を考えて発表することができる 他者の意見を聞き入れながら協調し個人の意見も持っている

- 9. 学習方法及び外部との連携
- ・本授業は普段触れることが少ない国籍等についても触れる
- ・移民・難民問題中心に考えて国際理解、国際協力を考える
- 10. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取組 東京都地理教育研究会、歴史教育者協議会などでの発表

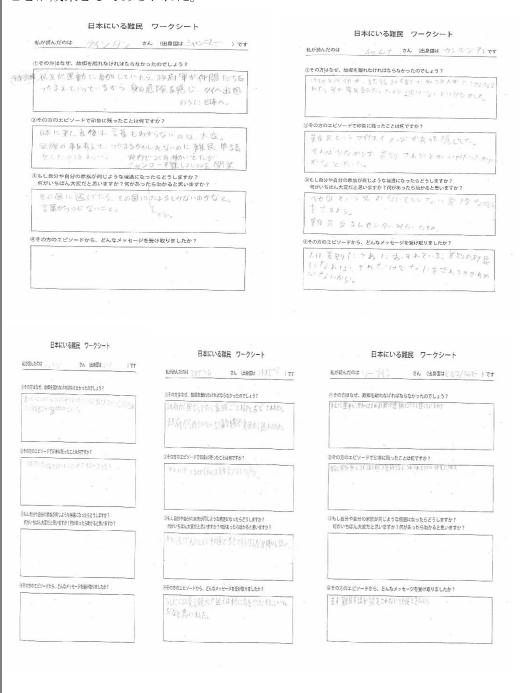
【自己評価】

11. 苦労した点	テーマを絞り込むために2学期の「国際社会」をしっかりと学び、そのうえで
	日々変化の連続で現在、起きている現代社会の問題について考えさせる。
	また、こちらが与えたテーマよりも生徒たちが自主的にと取り組みたいと考える
	ことを取り上げたいと考えてニュースを録画するなど工夫をした。
12. 改善点	5人が5通りのエピソードシートを読み発表をしたが、ジグソー法などを用いた話
	し合いをもっと深くできないかと考え、改善・改良していきたい。

13. 成果が出た点

○×クイズ問題を用いて間違いでもよいので自分の意見を述べさせることで心理的にもウォームアップとなった。

エピソードシートを読んだのちに発表に移った際、自然と積極的な意見が出る結果となったこと。意図して〇×クイズ問題から導入ることを活かせることができた。自由に意見を述べながらも常にお互いに配慮をして、発表する順番を教員の指名でなく、生徒たちが考えた上で発表のバトンを次につなぐ思いやりを自然とおこなうことが成果としてあらわれた。



14. 学びの軌跡 (児童生徒の反 応、感想文、作文、 ノートなど) JICA東京「出前授業」から始まり、国際社会に興味関心が芽生えて、現代社会に起こっている問題点に真剣に着目して考えることができるように変化・成長した。 ~生徒感想文~

『命の危険にさらされ、難民として他国へ逃がれている人たちは民主化運動に参加

したら政府から拷問を受けているのに難民申請に不認定になるなど本当に大変な 目にあっていることに気づかされた』

『移民・難民問題については本やインターネットの動画でしか、知らなかったけど、 実際にこうやって話す機会が(今まで)なかったから良い経験をしました。』 など感想文より気づきの意見多数あり。

開門資間です紙、3年 期代益 新問題「株本・地域のは、地域のでは、10回のようでは、大学、基本でとも機能、いかいないであまれた。」 「今回のようでは、15 であるものは、15 では、15 では、	関門でいる。 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)

15. 授業者による 自由記述

現代社会の国際社会と人類の課題を通して「問題解決型学習」に反映させたいと考えていた。その中でJICA東京の教員研修に参加し、沢山の気づきを頂いた。生徒たちへしっかりと還元し、生徒一人一人がアウトプット出来るような授業づくりを心がけた。その中で「難民移民」問題を色々な視点から取り組むことが出来た。SDGsを通して問題の解決方法を考えることも生徒たちは行うようになった。自ら

が問題を発見して解決する能力を養うことを自然と実践している。移民難民や平和 など国際問題の中でも取り挙げられるが、一人ひとりの自由を互いに承認し合う感 性や価値観を育むことが授業で微力であるが実践出来たと自負している。





使用した教科書・単元名:「最新 現代社会 新訂版」実教出版

参考資料:書籍

「未来の授業 SDGsダイバーシティBOOK」(監修:佐藤真久 宣伝会議)

「国籍の?がわかる本」(著:木下理仁 株式会社太郎次郎エディタス)

「日本で生きるクルド人」(著: 鴇沢哲雄 ぶなのもり)

「クルドを知るための55章」(編著:山口昭彦 明石書店)

「親子で学ぶSDGs」(著:バウンド 寄与者:岩附由香 扶桑社)

「図録 SDGsと仏教展」(著:本門佛立宗 京都佛立ミュージアム)

「難民に希望の光を 真の国際人 緒方貞子の生き方」(著:中村恵 平凡社)

「トルコ民族の世界史」(著:坂本勉 慶應義塾大学出版会)

「開発教育 基本アクティビティ集2 難民」(開発教育協会)

「ある日の入管」(著:織田朝日 扶桑社)

参考資料:映像資料

映画「マイスモールランド」

NHK「SDGs のうた」 「未来への分岐点」TBS「情報番組 ワイドスクランブル」